

CSM : 非参照アクセス リストの保持方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Security Manager (CSM) の導入時に他の CLI コマンド (access-group など) で使用されていない参照アクセス リストを保持する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントは、CSM がインストールされ、適切に動作することを前提としています。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CSM 3.0.1 以降に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

CSM の導入時の問題は、他の CLI コマンド (access-group など) で使用されていない参照アクセス リストを保持する方法です。

たとえば、PIX 設定にアクセス リストがあってもアクセス グループの一部ではない場合です。CSM は PIX を管理し始めるときに、デフォルトではこれらのアクセス リストを削除します。

[解決策](#)

問題を解決するには、次の解決策を使用してください。

1. CSM クライアントから、[Tools] > [Security Manager Administration] > [Deployment] を選択し、[Remove Unreferenced Access-lists on Device] チェックボックスを確認します (デフォルトで有効)。
2. このオプションをオフにします。

[関連情報](#)

- [Cisco Security Manager のサポート ページ](#)
- [Cisco PIX Firewall ソフトウェア](#)
- [Cisco Secure PIX ファイアウォール コマンド リファレンス](#)
- [セキュリティ製品に関する Field Notice \(PIX を含む \)](#)
- [Requests for Comments \(RFC \)](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)